

自由律俳句

おおくさ編集室選

おおらかに生きたい老いを明るく
 検診で胃カメラが覗いた老いの身を
 時にはコスモスになりバラのような人
 昼間の疲れ良く眠っている
 蝶や蜂や来てそこら明るいつわの花
 長びくコロナ禍に人影まばら花回廊
 桃岳開けても一人 兄や妹を思い
 目覚めたら雨の音安堵して又眠る
 裸蛙にも何か着せたい晩秋の寒風

茶屋 木山 輝子
 神戸上 柴田 篤子
 茶屋 木山 操子
 印 賀 久代 幹子
 茶屋 小林 道子
 茶屋 岸本 治枝
 生 山 渡辺 圭子
 茶屋 長谷川由美子
 茶屋 藤原 寿郎

豊穰の地もはやも芒の野となりぬ
 雨上り刈取り急ぐ農夫たち
 猪仕留られ後のむなしさいつまでも
 秋しぐれ家族に逢えるはいつの日か
 亡き友の個展の知らせ文化の日
 山紅葉日々に色濃し背戸の山
 夜着の香もやすらぎ秋の宵寝かな
 秋風や吹く最中にも虫の声
 遠き空澄みきつた山並秋惜しむ
 お気に入りモンベつひ小春はの歩

萩 原 岡本 健三
 萩 原 金谷 松代
 宮 内 木村篤佐子
 神 戸 上 笹間 玲子
 宮 内 田辺登志美
 豊 栄 花倉美佐子
 宮 内 舟越 裕子
 笠 木 三上 通子
 下 石 見 矢田貝 元
 矢 戸 和 田 淑子

短歌

時は今ここぞとばかり黄化粧
 木漏れ日浴びてゆく秋ぞ恋しき
 悲喜あれど所詮比岸は假の宿
 心安まる五蘊皆空
 コロナ禍で自じしやく粛自粛の日々くらし
 子らと学まなぶノルディックウオーク
 かりん酒のこはく色に誘まよわれて
 一口含み口角くちかく上げる
 初雪や底冷えの中モチをつく
 ほっこりモチを囲んで食べる

新 屋 宮崎 正男
 湯 河 山田 司郎
 上 石 見 福田 輝之
 下 石 見 浅川 三郎

編集後記

早いもので2020年が終わろうとしています。今年には新型コロナウイルス感染症の影響が大きく、毎日のどこかがモヤモヤし、我慢、我慢の年だったのだと思います。今月の「オッサンシヨウ」へ行きました。夏ごろから町内の飲食店をまわって話を伺いましたが、今回取材をし、改めてコロナによる爪痕と町の皆様の協力を感じました。「経営が厳しい時期もあったけど、日南町から飲食店を無くしたくなかったし、助けられた」と語られた大谷さんからは強い意志を感じました。潤沢な経営にならなくとも日南町にとって無くてはならない飲食店を続けたいと頑張ってくださいている皆様、そして長年頑張ってくださいた皆様には改めて敬意と感謝の気持ちでいっぱいになりました。町職員として、感謝の気持ちを忘れず、できることをしていきたいです。

問 役場企画課 82-11115

お詫び

広報にちなん12月号広報文芸におきまして、柴田篤子さんの俳句に誤りがありました。お詫びして訂正します。
 誤 生山 柴田篤子 ↓ 正 神戸上 柴田篤子

「手話教室のお知らせ」

日南町手話サークルでは、手話教室を開催しています。
 手話が初心者の方でも安心です。おしゃべりをしながら、日常生活の中の簡単な手話表現を学習しています。
 手話に興味のある方は、一緒に学習してみませんか？

1月の日程

1月は学習会は開催しません

【お問い合わせ先】

石田由香里 (0800305219933)
 浅野 博美 (090097341887)

「親しき仲にもマスクあり」



両手の手のひらを合わせて組み、そのまま軽く水平に回す
 ※両手を強く組んでゆっくり回す程、親しさの度合いが強い

「マスク」



両手の親指と人差し指をわん曲させて指先を合わせ口の前方かまへ横に引く



両手とも親指と人差し指を合わせる

「手話表現には、色々な表現方法があります。」

